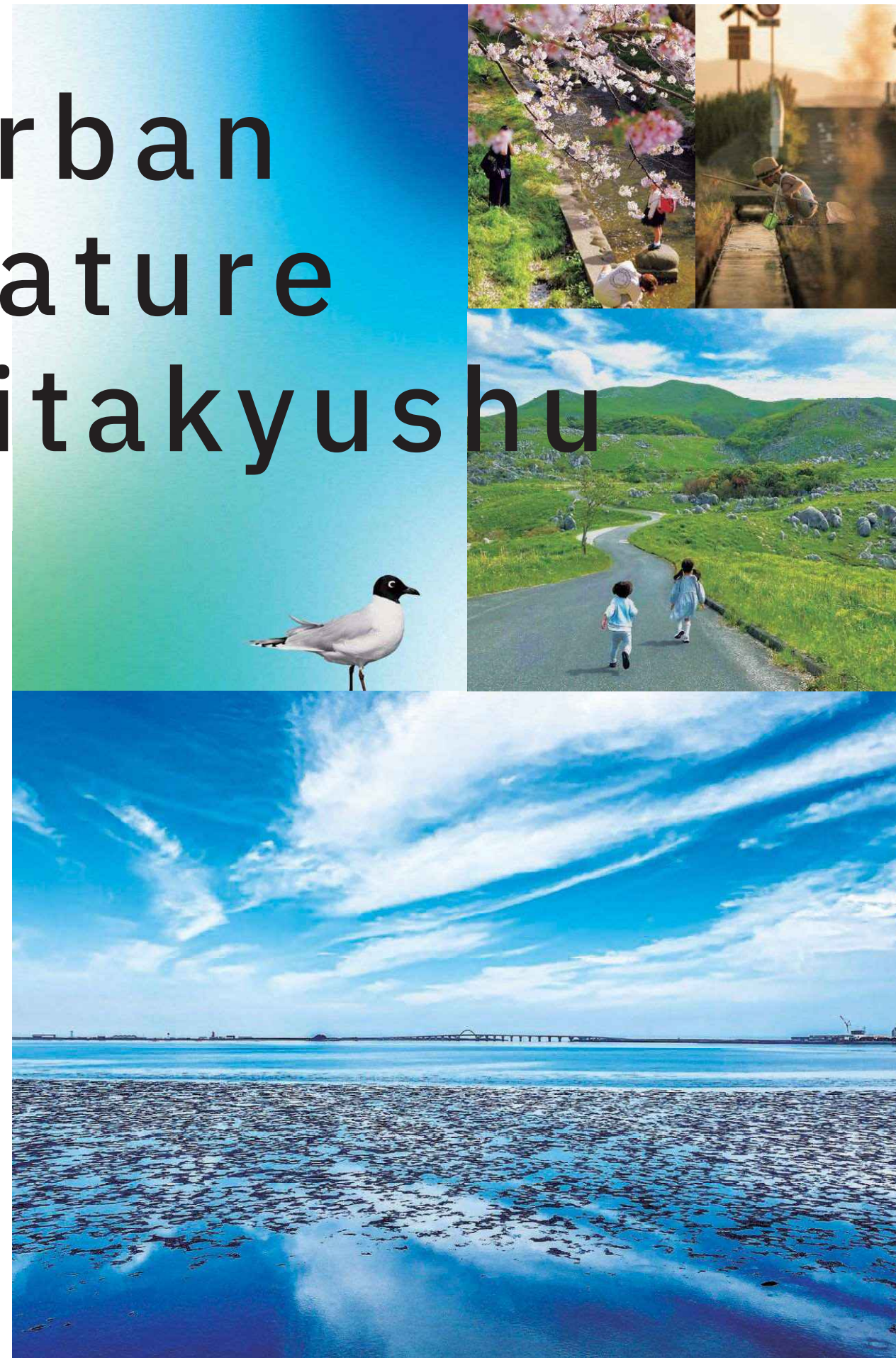


Urban Nature Kitakyushu



北九州市
生物多様性
戦略 2025-2030

令和7年5月



ア-バンネイチャー
北九州

ご挨拶

北九州市は、三方を響灘、関門海峡、周防灘と特徴の異なる3つの海に囲まれ、市域の約4割を森林が占めるとともに、曽根干潟や響灘ビオトープなど、全国的にも希少な生きものの生息地があり、工業都市、産業都市でありながら、都市に近接する豊かな自然にあふれるまちです。

北九州市では、この魅力的な自然環境を守り育むため、平成17年に政令市で初めて「自然環境保全に関する基本計画」を策定し、「都市と自然の共生」を基本理念として、市民、団体、企業、研究機関、行政等が一丸となり、生物多様性の保全に向けて取組を進めてきました。

近年、生物多様性を取り巻く環境は劇的に変化しています。
令和4年の生物多様性条約締約国会議（COP15）において採択された「昆明・モントリオール生物多様性枠組」では、生物多様性の損失を止め回復軌道に乗せる、いわゆる「ネイチャーポジティブ」の実現が掲げられ、今や「カーボンニュートラル」や「サーキュラーエコノミー」と並ぶ、世界の潮流となっています。

まさに今、世界がネイチャーポジティブの実現に向けて動き始めています。今回改定した北九州市生物多様性戦略では、ネイチャーポジティブの最新動向を踏まえつつ、北九州市が誇る、都市に近接する豊かな自然を「アーバンネイチャー北九州」と定義し、「都市と自然との共生」というネイチャーポジティブのグローバルモデルとなることを目指します。

また、「アーバンネイチャー北九州」を世界に発信し、都市と自然との共生を実現していくことは、北九州市基本構想に掲げる『つながりと情熱と技術で、「一歩先の価値観」を体現するグローバル挑戦都市・北九州市』に繋がるものです。

都市と自然との共生は、市民や市民団体、事業者の皆様のご理解とご協力なしでは実現できません。産官学民が一体となり戦略を推進する「北九州ネイチャーポジティブネットワーク」と、その中核的機能を担う「北九州ネイチャーポジティブセンター」を新たに創設し、それぞれの主体が連携してネイチャーポジティブに取り組むことで、アーバンネイチャーを未来の世代に引き継ぐとともに、「世界をリードするサステナブルシティの実現」を目指してまいります。

結びに、本戦略の改定に当たり、限られた時間のなかで活発なご議論をいただきました北九州市環境審議会の委員の皆様、貴重なご意見やご提案を賜りました市民や市議会の皆様、関係企業・団体の皆様に厚くお礼を申し上げます。

令和7年5月

北九州市長

武内 和久



Contents

第1章 北九州市の生物多様性	
北九州市の生物多様性の特徴と魅力	03
北九州市の食の魅力	05
北九州市の多様な生きもの	07

第2章 生物多様性をめぐる国内外の動向	
生物多様性とは	09
生物多様性の損失	10
生物多様性を取り巻く国内外の動向	11

第3章 北九州市のこれまでの取組	
北九州市の自然の歴史と公害克服の経験	13
第2次戦略での主要な取組と成果	14
今後取り組むべきこと	14

第4章 北九州市生物多様性戦略2025-2030の基本的事項	
戦略の基本方針と目指す姿	15
戦略の基本的枠組みと位置づけ	15
戦略の基本施策と基本指標	17
戦略の推進体制	19

第5章 主要施策一覧	
基本目標1に関連する主要施策	21
基本目標2に関連する主要施策	25
基本目標3に関連する主要施策	27

Photo Gallery	29
---------------	----

Urban Nature Kitakyushu